○ Nippon, Kamijama ナル地名ニ就テ (前川文夫)

つくしからもりさう (*Cacalia nipponica* MIQUEL) ハ PIEROT ガ prope oppidum Kamijama ins. Nippon デ採ツタト MIQUEL ハ Annales Musei Botanici Lugduno-Batavi 2: 181 (1866) ニ記ス。即チ直譯スレバ本州カミヤマ村附近デアル(當時ノ外人ハ本州ヲサシ日本ト書イテ居タ)。シカシ原標本ニハ oppido ノ文字ガナイ(小泉博士 Symbolæ Fl. Jap. 2 (1930)參照)。考ヘラレルノハ先ヅ東海道ニ沿ツタ伊勢龜山ト箱根神山トデ、共ニ徳川時代ニ江戸ヘ往復ノ外人ガ採集スル可能性ハ多イガ記載ニ合フ *Cacalia* ハ同地並ニソノ附近ニハ全然ナク却ツテ九州ニハ相當ニ分布スルカラ、ソノ種類ガ今ハ絶滅シタト考ヘルヨリハ地名ノ書キ損ジト見タ方ガ穩當デアル。既ニ松村先生ハ名鑑ニ Kamiyama (Hizen) トシテ居ラレルカラ氣付イテ居ラレタノデアラウガ、ドンナ字ヲ宛テルカ判ラナイ。デ自分モ以前九州ノ地名ヲ大分漁ツタガ無駄デアツタ。所ガ偶然ソレカト思フモノヲ見付ケタ。ソレハ廣重描ク處ノ錦繪デ六十余州名所圖會ノ中ノ肥前長崎稻佐山ノ圖デアツタ。同圖ニハ稻佐山ノ外ニイクツモ山ガ描イテアツテソノ一ツニ龜山ノ名ガ入ツテ居ル。松カ何カ黒々ト茂ツテイカサマ *Cacalia* ガアツテモヨサソウデアルシ、又長崎附近ナラバ當時出島ヲ根據トシタ和蘭人ガ採集ヲ試ミタ可能性モ多イ。發音モ殆ンド同ジデアルカラ恐ラクつくしからもりさうノ基準産地ハ肥前長崎附近ノ龜山デアルトシテ十中八九間違ヒハナカラウ。本州トナツタノハ MIQUEL ガ九州ノ地理ヲ知ラズ早呑込ミニ東海道ノ龜山ト決メテシマヒ餘計ナ文字ヲ書キ添ヘタ爲デアラウ。ソレガ昭和ノ初メ迄禍シテコノ學名ガ歸スルトコロヲ得ナカツタトハ恐ルベキコトデアツタ。因ニ上記ノ廣重ノ圖ハ鐵道省日本案内記九州篇(昭和10年)表紙裏ノ見返ニ出テ居ル。北村博士ガ植物分類地理 7-4 ニ書カレタコトニ對シテコヽニ記シテ責ヲフサグ。

○土佐東部ニ於ケル著シキ植物ノ分布 (吉永虎馬)

土佐國安藝郡野根町附近ハ阿波國境ニ近ク室戸崎ヨリ北方ニ連リタル紀伊水道ニ面スル沿海地方ニシテ氣候温暖降水量多ク從來植物ノ分布ニ就キテ期待サルル所多カリシモ漸ク其一部分ノミ知ラレ居タルガ山脇哲臣氏ガ同町國民學校ニ奉職サルルニ及ビ氏ノ慧眼ト採取ニ特殊ノ技能ヲ有セラルルニヨリテ僅ノ年月間ニ於テ重要ナル植物ノ存在ヲ明カニシ我室戸半島並ニ足摺半島ヲ介シテ伊豆半島及紀州半島ヨリ九州ニ亙ル植物分布ニ就キテ新知見ヲ加フルニ至レリ。尚今後續々其顯著ナル種類ヲ加ヘラルベキモ先ヅ現在認メラレタルモノヽ中著シキ羊齒類ヲ左ニ略記シテ報告スルコトトセリ。

あついた、くさまるはち、おほいはひとで、すぢひとつば、りうびんたい、ひのきしだ、ほうのかはしだ、をとこしだ、をながうらぼし、あみしだ、こくまうくじゃく、しろやましだ、ひめさじらん、たきみしだ、おほばのあまくさしだ、ひめはしごしだ、きくしのぶ、なんかくらん、すぎらん、

きくしのぶハ從來紀州半島及九州ニ於テ知ラレタルモ我四國ニ於ケル分布ハ未知ニ屬シ其所生ヲ期待サレ居タルガ最近ニ至リ甚少量ナガラ野根町眞砂瀨ノ岩上ニ於テ終ニ之ヲ見

出スルニ至レリ。尙くさまるはちハ四國ニテハ初メ幡多郡八東村山路ニ於テ見出サレ其後絕エテ其所生ヲ見ラレザリシガ先般比較的多數發見サレ又おほいはひとでモ幡多郡以東ニ於テハ初メテ此地ニ於テ採集サレタリ。又あついた、すぢひとつば、あみしだ等ハ旺盛ナル發育ヲナセリ。

次ニ著シキ顯花植物ノ知ラレタルモノ左ノ如シ

はるざきやつしろらん、むえふらん、などらん、きばなのせきこく、かんらん、ほしけい、まやらん、かうちてんなんしやう、しやくぢやうさう、ひろはのみみづばひ、しそばうりくさ等。

尙 *Hosta* 及 *Heterotropa* 等未詳ノモノ多ク葉上苔類ノ種類モ亦甚ダ多數見出サレツツアリ。

○植物名稱餘談（檜山庫三）

1) のはらくさふぢ桂川ヲ下ル

大陸ノ植物のはらくさふぢ（*Vicia amurensis* OETTINGEN）ガ岳麓ヲ初メ信濃ヤ武藏ニモ多少產スル事ハ既ニ報告サレテキルガ、最近私ハ中央線鳥澤附近ノ桂川緣デ本種ヲ採集シタ。之ガ岳麓カラノ種子ノ流下ニ因ルモノデアル事ハ容易ニ想像サレルガ、ソノ小葉ノ長サハ15–25 mm ヲ算シ var. *silvatica* ニモ var. *pratensis* ニモ入レニクイ。岳麓ニハ var. *silvatica*（西湖畔）ヤ var. *pratensis*（諏訪ノ森）ニヨク合致スルモノモ無クハナイガ、概ネ小葉ノ長サハ 2 cm 前後ノモノガ多イカラ、少クトモ本州デハ、小葉ノ長サニヨリ變種ヲ分ツ事ハ不自然デアル。又本州產のはらくさふぢデハ莖、葉羽軸及ビ萼ハ常ニ多少ノ毛ヲ有シ、小葉ノ裏面モ亦幾分有毛ノ場合ガ多ク、ソノ質モ概シテ厚イ感ガアル。コノのはらくさふぢハ外觀ガひろはくさふぢ（川上氏 1895 年）ヤつるふぢばかまニ似ル爲カ、日本植物總覽補遺デハ本種ノ分布ガひろはくさふぢノソレト混同サレテキルラシク、又續日本植物圖譜 3059 圖「のはらくさふぢ」トアルモノハ眞ノのはらくさふぢニ似テ非ナル別種デアル。和名のはらくさふぢ（中井博士 1914 年）ハ小葉ノ長イ品ニ命名サレタモノデアルが、又牧野博士モ餘程以前カラふじくさふぢノ名ヲ與ヘラレテキタ。尙コノ他、ひろはくさふぢ（中井博士 1914 年、短小葉品）、のはらゑんどう（長小葉品）、このはらくさふぢ（短小葉品）ナドノ名ガアル。

2) あをこあかそニ二品アリ

こあかそノ一品ニ新莖、葉柄、葉主脉ノ綠色ノモノガアツテ、之ニ牧野博士ハあをこあかそ *Boehmeria spicata* THUNB. f. *viridis* MAK., Ill. Fl. Nipp. (Oct. 1940) 642——Syn. *Boehmeria spicata* f. *viridescens* MAK. in 實際園藝 XXVI. (Dec. 1940) 1188 ト命名セラレタガ、コレヨリ先ニ佐竹博士ガくさこあかそノ一品ニ與ヘラレタ同名ノあをこあかそ *Boehmeria paraspicata* NAK. f. *viridis* SATAKE (1936) ト云フモノガアツテ甚ダマギラハシイ故、コヽニこあかそノ一品タルあをこあかそ（牧野）ヲみどりこあかそ（新名）ト改メタイ。尙みどりこあかそノ學名ハ上記ノ如ク二通リガ同ジ年ニ同ジ人ニヨリ發